

● 必修
○ 選択

—— 前期
----- 後期
- - - - 通年
- . - . 集中

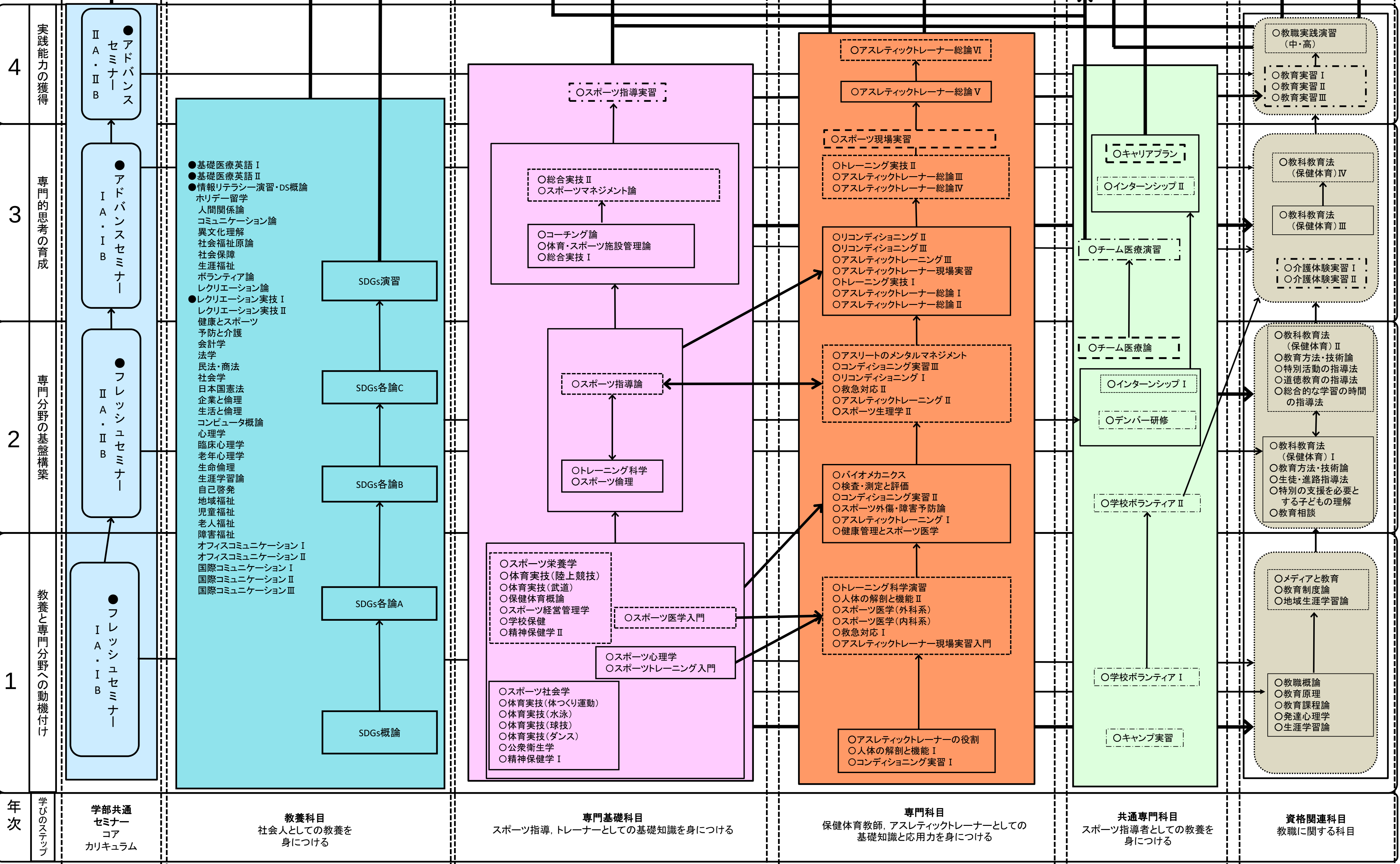
DP1 知識・理解

DP2 当該分野固有の能力

DP3 汎用的能力

DP4 態度・姿勢

就職・AT試験・教員採用試験・競技継続



健康医療スポーツ学部医療スポーツ学科アスリートコース ディプロマポリシー(2025年度入学生)

1. 知識・理解

- ① 幅広い視野に立った教養やコミュニケーション能力を修得している。
- ② スポーツ医科学の基本的な概念と理論を理解し、幅広い知識を修得している。
- ③ 学んだ知識を他者のみならず自らの競技活動で応用し、問題解決に役立てる能力を修得している。
- ④ スポーツ医科学の最新の知識や技術を継続的に学び続ける姿勢を修得している。

2. 当該分野固有の能力

- ① スポーツ医科学の基本原則を理解し、競技力向上のためのトレーニング法などを自ら実践するとともに他者へ指導できる能力を修得している。
- ② 正確な健康状態および体力の把握方法を理解し、他者や自らに適した各種プログラムを作成するとともに指導できる能力を修得している。
- ③ アスリートや指導者としてスポーツ医科学分野における多職種と連携するコミュニケーション能力と協力姿勢を修得している。

3. 汎用的能力

- ① 社会のルールやマナーを理解し、日常生活や職業生活において適切に行動する能力を修得している。
- ② 異なる背景や価値観を持つ人々と効果的にコミュニケーションを取る能力を修得している。
- ③ 国際的な視野を持ち、グローバルな課題に対して柔軟に対応し、国際社会で活躍できる能力を修得している。

4. 態度・姿勢

- ① 地域社会やスポーツコミュニティに積極的に関与し、健康増進やスポーツ振興に貢献する。
- ② スポーツを通じた健康増進に寄与し社会に貢献する意識を持ち、実際の活動に取り組む姿勢を修得している。
- ③ 競技者、体育・スポーツの専門家としての自覚を持ち、常に高い専門性とプロフェッショナリズムを維持する。

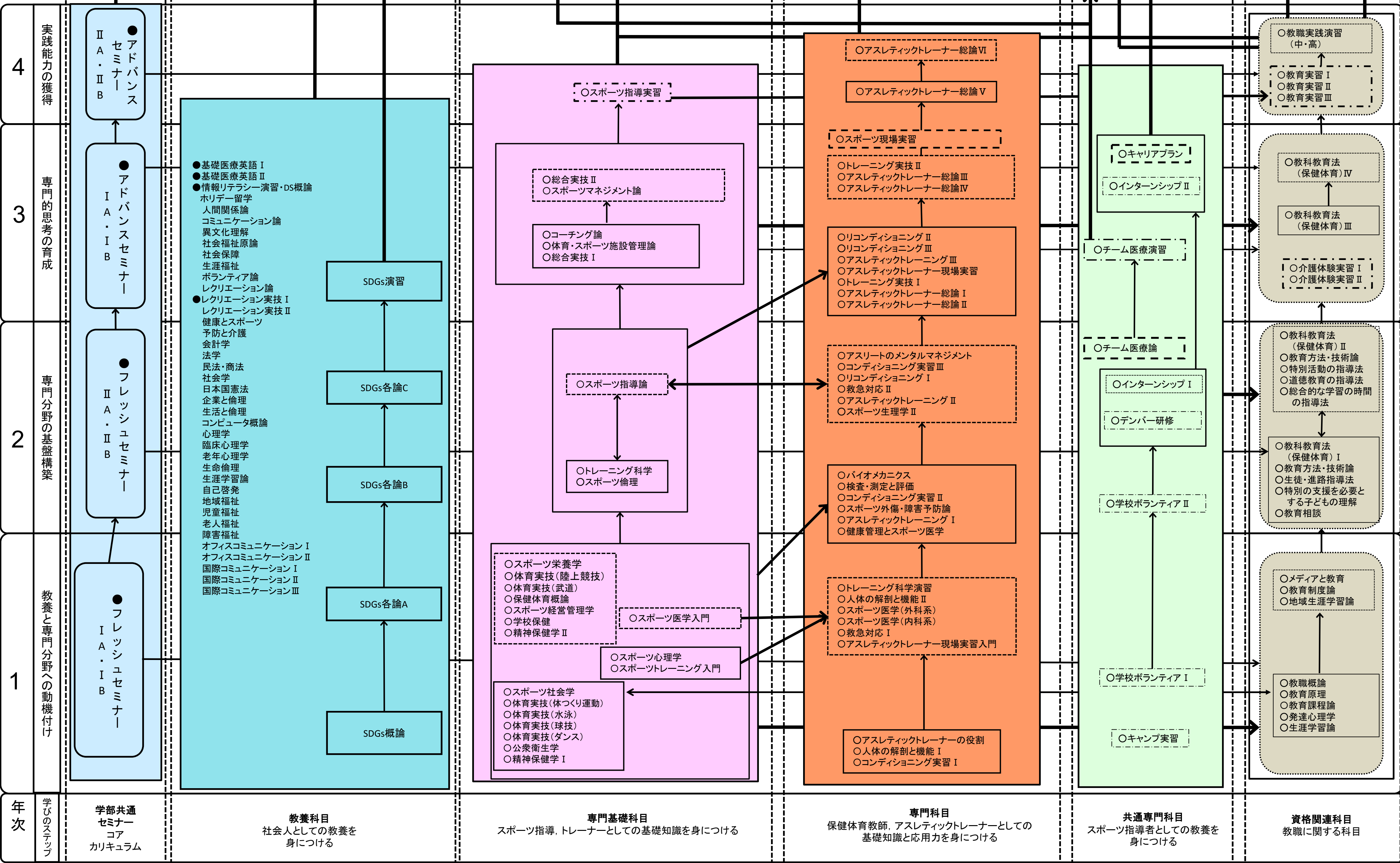
DP1 スポーツ医科学を理解し、適切なトレーニング法の知識とコミュニケーション能力を有し、かつ実践できる。

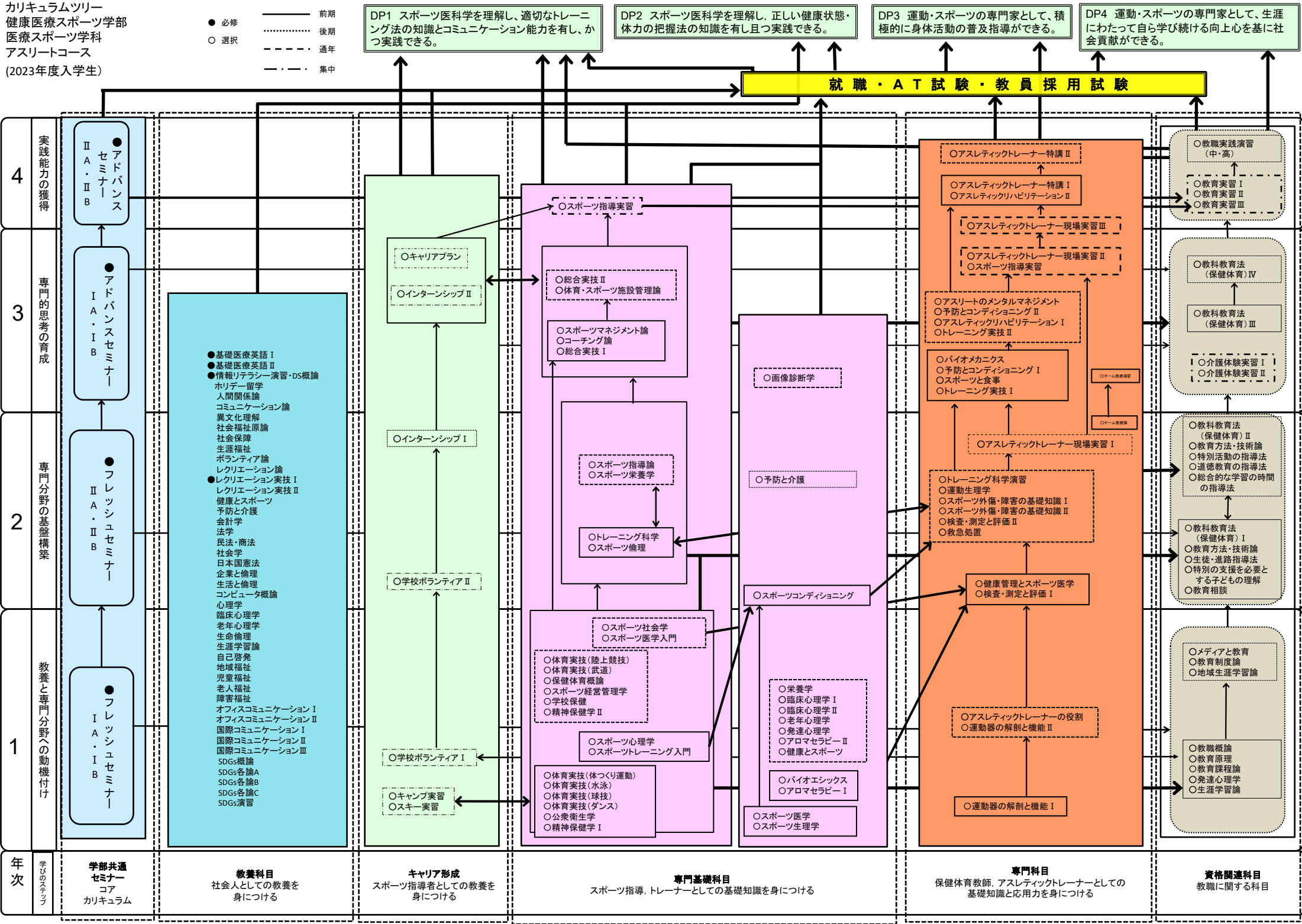
DP2 スポーツ医科学を理解し、正しい健康状態・体力の把握法の知識を有し且つ実践できる。

DP3 運動・スポーツの専門家として、積極的に身体活動の普及指導ができる。

DP4 運動・スポーツの専門家として、生涯にわたって自ら学び続ける向上心を基に社会貢献ができる。

就職・A T 試験・教員採用試験・競技継続





DP1 スポーツ医科学を理解し、適切なトレーニング法の指導知識を有し且つ実践できる。

DP2 スポーツ医科学を理解し、正しい健康状態・体力の把握法の知識を有し且つ実践できる。

DP3 運動・スポーツの専門家として、積極的に身体活動の普及指導ができる。

DP4 運動・スポーツの専門家として、生涯にわたって自ら学び続ける向上心を基に社会貢献ができる。

就職・AT試験・教員採用試験

